

CLOUD INSIGHTSによる VMWARE環境の最適化








問題点

ハイブリッド マルチクラウドを運用する組織では、環境全体で最適なパフォーマンスを確保し、コストを管理し、仮想化環境を保護することが不可欠です。最適なパフォーマンスと拡張性を実現するには、オンプレミスクラウドかを問わず、各データセンターを効果的に監視するために、多種多様なコストのかかる可観測性管理フレームワークやテクノロジーが必要になる場合があります。そのため、OPEXと人件費の増大という複雑な課題が生じます。ますます複雑化するハイブリッド マルチクラウドにわたるリソースを持つマルチベンダー / マルチプラットフォーム環境を管理しながらも、こうした課題には絶えず縮小される予算のもとで対処しなければなりません。

ソリューション

仮想化されたコンピューティング環境とストレージ環境を直ちに最適化し、サイズを適正化して、コスト削減とパフォーマンス向上を実現します。効果的なリソース管理とキャパシティ プランニングにより、無駄なリソースやアイドル状態のリソースをすばやく特定し、クラウド コストの回収やオンプレミス投資の延期につなげることができます。将来のクラウド移行に備えてワークロードのサイズを適正化しながら、ハイブリッド クラウド全体の無駄をプロアクティブに削減し、リソース利用率を最大限に引き上げます。

- 
1 仮想マシンからコンテナ、クラスタ全体までのサイズを適正化する機会を見極めることで、**将来のコストを平均30%削減***
- 
2 仮想マシン全体のワークロードIOプロファイルを分析し、クラウド コストの削減とワークロードに最適なストレージの選択を実現
- 
3 トラブルシューティングに要する時間を**最大90%短縮***
- 
4 コンピューティングとストレージのリソース過剰割り当てを削減して需要を管理
- 
5 **30日間の無償トライアル**でCloud Insightsの高度な機能を試用可能

*NetApp Cloud Insights : GigaOmベンチマーク レポート



仮想化インフラのコストを抑制し、適切なストレージ階層でパフォーマンスを最適化します。

NetAppが価値を提供できる場面



Cloud Insightsはインフラの最新化を促進し、分析、最適化、移行、運用をあらゆる場所で行えるようにします。

- 使いやすい標準化されたデータ モデルを使用して、異機種混在のIT環境全体を監視します。
- インフラのトポロジを分析し、どのワークロードがどのコンポーネントで誰のために実行されているかを判別します。
- ワークロードを簡単に分析し、最適化と移行によって効率を最大限に高めます。
- 不要なライセンス費用の支出を回避し、未使用のリソースを再利用することで、要件に合わせて物理インフラとクラウド インフラの割り当てを調整します。

NetAppならではの価値

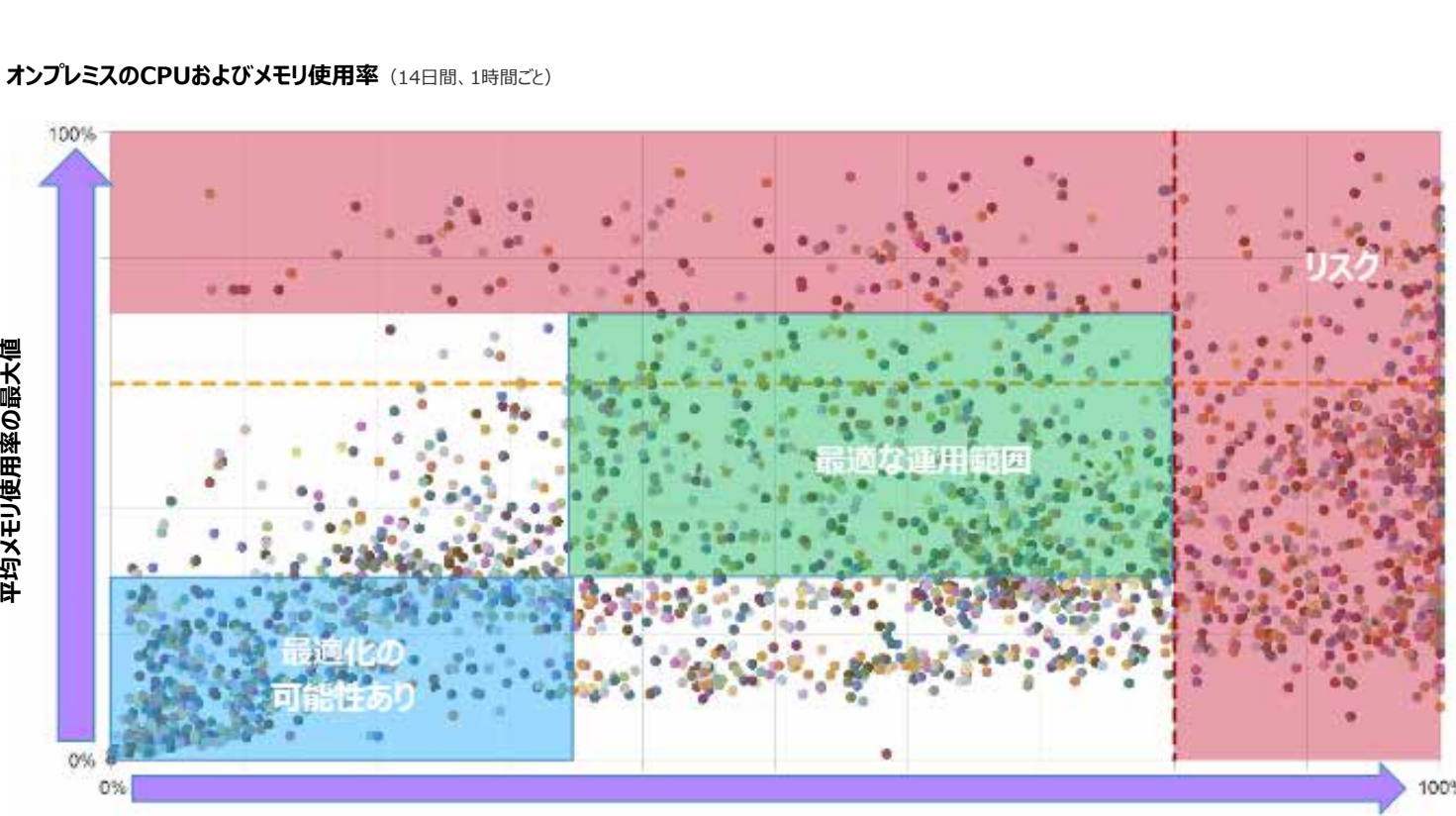
<p>包括的なポートフォリオ</p> <p>オンプレミスとクラウドでのインフラ運用に関するNetAppの戦略により、あらゆるクラウドやプライベート データセンターでワークロードを容易に処理できます。Cloud Insightsでは、仮想マシンやクラウド コンピューティング、Kubernetes、ローカル ストレージ アレイなど、数個のクラスタから数百、数千のクラスタまで、あらゆる規模のさまざまなプラットフォームを戦略的に監視できます。</p>	<p>総合的な可視性</p> <p>Cloud Insightsは、仮想化環境で実行されているすべてのシステムから収集した情報を分析し、関連付けるといった重労働を担います。ストレージの使用状況（「フルになるまでの時間」）と他のリソースに与える影響を予測し、ストレージを過剰に消費するリソースや問題のある共有リソースを分析し、変化と影響の相関分析などを行います。</p>	<p>使いやすさ</p> <p>Cloud Insightsの監視は習得が容易です。シンプルなクエリとダッシュボード機能により、集中的な再トレーニングは不要で、ワークフロー パスに沿って重要な問題を解決できます。</p>
--	---	---

「NetApp Cloud Insightsの高度な分析機能はきわめて優秀で、問題点をピンポイントで特定できます。ストレージやネットワーク、クライアントマシン、アプリケーション自体など、原因がどこにあるとも、問題点をあぶり出すことが可能です」

大手ソフトウェア企業の上級システム管理者
Ed Alexander氏

最新の仮想化に関する評価

未来の計画を立てるには、現状を把握する必要があります。この評価は、NetApp® Architecture and Design Serviceの機能です。各VMは、CPU使用率とメモリ使用率という2つの軸でマッピングされています。ワークショップでは、リソースの有効活用とコスト削減を促進するため、オンプレミスの最適化戦略とクラウド移行戦略に関する包括的な詳細情報がお客様に提供されます。



その他のリソース

- [Cloud Insightsのホーム ページ](#)
- [デモ ビデオ](#)
- [NetApp VMwareソリューション](#)